



今年度  
テーマシート  
(表裏)

## 自治会連合会だより

### 「家庭防災の日」による 家庭防災力の強化

今年も3月11日は家庭防災の日です。テーマシートを使って、家族で話し合い家庭の防災力をレベルアップしましょう。

#### 《平成25年度のテーマ》

● **テーマ1**  
わが家の防災備蓄品をチェックしましょう。

● **ポイント**：緊急持出袋にいれておくものと備蓄品に分けておくとういでしょう。

● **テーマ2**  
避難経路の確認をしましょう。

● **ポイント**：避難場所（自主防災会等が定める集合場所）は災害そのものから命を守るため緊急的に避難する場所です。指定避難所（市指定）は被災後、自宅に住めなくなった方が一時的に共同生活を送る場所です。これらの場所や避難経路等を確認しましょう。

● **テーマ3**  
家族でいわたホッとラインの登録をしましょう。

● **ポイント**：携帯電話やパソコンで情報を文字で確認できます。同報無線放送の聞き逃しや聞き漏らしがなくなり正確に情報把握できます。シートのQRコードをお使いください。

### 学校カリキュラムへの 防災教育取り入れについて

昨年度、防災対策アクシオンプログラム2により教育委員会へ要望をしました。その結果、今年度学校現場にて新たな取組みが行われました。教育委員会、福田小学校、磐田第一中学校の取組みを紹介します。

#### 【教育委員会】

教育委員会では防災担当教員による研修会を開き、磐田市が考える防災教育「さまざまな自然災害から命を守る」をテーマに、防災カリキュラムや避難訓練について話し合いをしました。また、静岡県西部危機管理局を招き、小学校で使える「避難所運営ゲーム(HUG)」を体験、新しい教材について研修をしました。

#### 【福田小学校】

#### 学校公開日、全学級で防災教育

9月19日 学校公開日を基準日として全学級で防災教育を実施しました。1年生では大きな地震が来た時の身の守り方を、5年生では東南海地震のときの紙芝居を参考に、どのような被害や危険が発生するのか、また、その時どう行動すればよいのかを学びました。

学校では今後も「防災教育」の授業を年間5時間行っていく予定です。



▲地震が来た時の身の守り方を訓練（1年生）



▲東南海地震の記録紙芝居（5年生）

#### 【磐田第一中学校】 1年生における防災教育の取組み

1月8日、磐田市消防署の協力でスモーク体験と防災クイズを実施しました。地震と一緒に火災が発生した時、煙をなるべく吸わなくて済む安全かつ迅速な避難ができる方法を学びました。実際に被服室にコースを

作り、スモークマシーンから煙を出して、煙の中を避難しました。また、防災クイズにも挑戦しました。



▲スモーク体験

#### 【生徒の感想】

● スモーク体験は初め簡単だと思っていただけ、実際には意外と前が見えなかったし、膝や手をつくると本当だったらガラスが落ちていたりするので膝がつけられず、しゃがんだ姿勢で前進するのがきつかった。パニックにならず冷静にいられるかどうか心配になりました。

● 防災クイズは、知らなかったことが多かったのですが、これから地震に備えてしっかりと分りました。



▲「家庭防災の日」ポスター

## 自治会連合会と

### 自主防災会連合会の統合について

#### 磐田市自主防災会連合会 臨時総会の開催について

平成24年6月、自治会・自主防災会連合会役員は東日本大震災被災地を視察し、「自分の命は自分で守る」、「市民一人ひとりの危機意識の高揚」の大切さを学びました。

そして、磐田市民一人ひとりが「自助・共助」の意識を高め、地域防災力を強めていく行動計画として同年9月に「防災対策アクションプログラム」を策定しました。

プログラムの柱④に「自主防災会組織の強化」を取り上げ、平成25年度の総会の席上、平成26年4月に自治会連合会と自主防災会連合会とを統合することについて決定しました。

平成25年度、統合の準備を進めるため、自治会・自主防災会連合会一体化に向けた検討委員会を3回開催

#### 具体的方策

連 合 会	単 位 自 治 会
<b>有事の際の指示系統の一本化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自治会連合会、自主防災会連合会が別々に組織されていることから一本化して指示系統を整理する。</li> <li>●組織の簡素化を図る。</li> </ul>	<b>自主防災会長の専任化、複数年化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●災害時の対応や有事に備えた地域づくりのため防災に精通した役員が必要である。</li> <li>●地域をよく知り、地域にあった防災対策と組織体制づくりが必要である。</li> <li>●地域事情を取り入れた訓練を実施する。</li> <li>●自治会長と自主防災会長の役割分担の明確化を図る。</li> </ul> <p>※自主防災会長専任化については、自治会の規模や実状にあった形で進める。</p> <b>自主防災会長の位置づけ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●副自治会長と同じような位置づけとし、常に自治会三役の中で情報交換できる体制が望ましい。</li> </ul>

し、表の『具体的方策』をまとめました。

このような経緯により、「磐田市自主防災会連合会の解散」について審議するため、本年3月、磐田市自主防災会連合会臨時総会を開催することとなりました。

## 平成26年度以降の自治会連合会、

### 単位自治会長・自主防災会長の動き

#### 自治会連合会

平成26年4月、自治会連合会と自主防災会連合会が統合することから平成26年度以降の自主防災会連合会の総会はありません。

自主防災会連合会事業は自治会連合会に引き継がれますので、平成26年度以降の総会は自治会長のみの出席となります。

#### 単位自治会長、自主防災会長

自治会長の負担が大きくなった声を多く聞きます。自治会長は自治会の最高責任者で、自治会のことを掌握している必要があることから、負担が大きくなるのもやむを得ないところがあります。実際の活動については副会長や自主防災会長など他の役員が中心になって行っていただければよいと思います。ただし、活動後、役員会などで自治会長らに報告、連絡、相談をするといったことを行ってください。

#### 単位自治会内の組織（イメージ図）



#### 自主防災会長の位置づけ

副自治会長や会計と同じような位置づけとし、常に自治会三役の中で情報交換できる体制が望ましい。

有事の際は、自治会が決めた避難場所と、被災後、自宅に住めなくなった時に行く指定避難所の2つの拠点ができます。自治会長と自主防災会長の役割分担や連携が必要になってきます。

## 各支部多文化研修会 について

### ●磐田支部

平成26年2月4日磐田市一言にあるブラジル人学校「エスコラ・オブジェチーヴォ・デ・イワタ」を自治会連合会磐田支部の理事ら13名が訪問し、子供たちの授業の様子を見学しました。

同支部では平成18年から多文化共生への取組みを行っており、リーマンショック以降外国人の人数は減少傾向ですが、反対に定住を決めた家族もいます。そうした家庭の課題として子供たちの就学があり、今回の研修となりました。

幼児から高校生までいろいろな夢を持って一生懸命勉強している姿に地域として何ができるか考えさせられました。



▲磐田支部



▲福田支部

### ●福田支部

平成25年10月27日福田支所にて、川島支部長はじめ地区長、自治会長など約40名が参加し開催しました。

外国人の方をどのように自治会コミュニティに受け入れていくか。そのきっかけの会になればとの川島支部長のあいさつからは始まり、磐田市の多文化共生の先駆者である杉田連合会長から自治会連合会の多文化共生の歩みを、磐田市嘱託職員亀井セルジオさんから日本とブラジルの文化の違いなどについて講話を受けました。

参加者からは言葉の壁が大きいといった課題が出されていきました。



▲竜洋支部

### ●竜洋支部

地区内に居住する外国人市民とお互いの文化を理解し良好な関係を作ることで災害時の安否確認に役立てようと、平成25年11月26日に懇談会を開催しました。

磐田市市民活動推進課の中里キヨミさんからクイズを織り交ぜ母国ブラジルを楽しく紹介、日本に一目ぼれしたとの言葉に会場から拍手が起りました。

世帯の半数以上が外国人という竜洋雇用促進自治会の梁瀬良人自治会長から運営の苦労や今年度再編した自主防災組織について話がありました。言葉の壁を排除しコミュニケーションの向上を図るため外国人を役員に加えたといった報告がありました。

### ●豊田支部

豊田支部は毎年2回実施しており、7月30日と11月1日に開催しました。7月は行政及び国際交流協会から多文化共生の取組みについての説明や、外国人従業員を雇用している企業の社長を招き、コミュニケーションの図り方などについて意見交換しました。

11月は国際交流協会から市民参加型イベントの紹介や、外国人住民の地域防災訓練参加の啓発を行いました。翻訳したパンフレットを各自治会で配り、自主的な訓練参加を促した結果、16名の外国人の方に参加いただきました。



▲豊田支部

### ●豊岡支部

平成25年11月28日自治会長等自治会関係者を対象に開催しました。比較的外国人市民が少ない豊岡支部のこの研修は今回が2回目となります。

磐田市市民活動推進課の中里キヨミさんからブラジルのことを、クイズを取り入れながら楽しく説明いただき、出席した自治会長から「ブラジル文化に触れる機会はありませんがいろいろなことを学べた」といった話がありました。

次のステップとして外国人の方との接し方や、地域の問題点、課題点、そして解決策を考える機会を持ちたいとのことでした。



▲豊岡支部

## 協力事業

### 高齢者交通事故防止対策 モデル地区の活動

昨年、静岡県の交通事故死者は184人でその6割が高齢者です。磐田市内では8件9人の死亡事故が発生し、そのうちの5人が高齢者（歩行中4人、自転車乗車中1人）です。

磐田警察署では高齢者交通事故防止活動を関係機関、団体、そして自治会と協力をして取り組んでおり、今回、モデル地区を指定し、地域住民の安全意識を高揚させることにより高齢者の交通事故ゼロを目指しています。

自治会連合会ではこれを全市的な取組みに発展させていきたいと考えています。

#### 豊田地区

#### ●高齢者交通事故防止対策モデル地区指定書交付式

平成25年11月28日、地域住民50名が出席する中、磐田市自治会連合会豊田支部はモデル地区指定書とのぼり旗75枚を交付されました。

指定書を受けた村上勇夫豊田支部長が事故防止の積極的な活動を誓う交通安全宣言を行いました。

その後、交通指導員らによる反射材ファッシュンショーや磐田警察署生活安全課員による防犯コントが行われ、出席者は楽しくわが身を守る術を学びました。



モデル地区指定書交付式

#### ●「ピカット作戦」 交通安全ウォーキング豊田

平成25年12月20日、約50名ほどの地域住民が、夕闇せまる午後5時から豊田支所周辺で反射材を着けパレード、反射材の効果や交通事故防止を呼びかけました。



「ピカット作戦」交通安全ウォーキング豊田

●交通事故防止宣言への署名活動  
平成26年1月、豊田地区の交通事故ゼロを目指して、交通安全宣言書への署名活動を自治会回覧にお願いしました。

#### ●今後の活動

交通安全役員など高齢者宅に訪問し反射材着用の呼びかけや聞き取りを行います。

#### 天竜地区（磐田支部）

#### ●高齢者交通事故防止対策モデル地区指定書交付式

平成25年12月25日、地域住民約60名が出席し指定書を交付されました。指定書を受けた吉添繁雄天竜地区長が交通安全宣言を行いました。

#### ●高齢者に対する

#### 交通安全教室の開催

シルバークラブやサロン等で交通安全教室を開催しています。豊島自治会では昨年11月に約30名が参加し、3D画面を使った歩行体験の様子



3Dを使った歩行体験の様子

行体験を通して歩行上の注意事項を学びました。北島自治会では平成26年1月31日約40名が参加し、自発光式反射材の着用をお願いすると共に、交通安全教室を開催しました。

#### ●自発光式反射材着用の街頭PRを実施

平成26年2月12日、自治会役員約30名が夕暮れ時に、豊島地区と上岡田地区の2ヶ所で、自発光式反射材の着用を呼びかける街頭PRを実施しました。



自発光式反射材着用街頭PRの様子

#### ●今後の活動

高齢者向け交通安全教室を今後も各自治会で行っていきます。また、交通安全危険箇所マップを配布し、歩行者が特に気をつけなければならないところをお知らせし注意を促していきます。



自発光式反射材